

令和3年度 鹿児島工学院専門学校 自己点検・評価

学 校 教 育 基 本 方 針 (教 育 理 念)	学校教育法第124条の専修学校の目的と川島学園創立の精神に基づき、高度化・専門化・多様化・国際化の進む社会に即応できるより高度な専門能力とより豊かな資質・個性を備えた全人的職業人を育成する。
教育目標	1. 教師は「教える」を旨とし、「自己啓発」に努め「率先垂範」する。 更に組織の中にあつては「和合」を旨とする。 2. 学生は「自立自興」「不屈不撓」の精神をもって、絶えず学習に専念して知性・技量を磨き、将来の向上発展を期す。 (1) 心・徳の修練：心は言動の基となる。真心・情熱・信念をもって行動し、信義・礼節を重んじ、心豊かな人格・人徳の向上に努める。 (2) 知・技の修練：知は物事を判断する心情である。知力・知性・知識の修練に励み、人格形成と同時に技量の向上を図り奥義を究める。 (3) 体・行の修練：体は心の鏡である。規則正しい生活習慣を持続し、心身ともに健全な人格の形成に邁進する。

アンケート評価の基準

(3 : 十分できている。 2 : おおむねできている。 1 : 不十分なところがある。)

分野	目 標	具 体 的 取 組	評 価	改善項目
(1) 教育課程・学習指導	基礎学力の育成	教科ごとにシラバスを作成し、計画的な授業を行う。	2.2	
		専門科目のみならず、日常生活の中で学生の知識向上の手助けをする。	2.1	
		授業進行について、教員間の連絡を密にして、効果的な授業を行う。	2.1	
	資格取得の取組	目指す資格の内容を理解させ、合格への目標設定を明確にする。	2.4	
		新規資格に対して研究・調査し、時代のニーズにあった資格取得を目指す。	2.2	
		補習等の実施によって、目指す資格の取得率を向上させる。	2.1	
(2) 生活指導	学校評価の実施	年2回の学校評価を行い、指導の改善に努める。	2.0	
	挨拶・礼儀指導	授業の開始・終了時の挨拶を徹底する。	2.3	
		職員室等への入退出の正しい動作を指導する。	2.1	
		来訪者への挨拶等を徹底指導する。	2.0	
		正しい言葉遣いを身につけさせる。	2.0	
	マナーの向上	社会人として恥ずかしくないようなマナー指導を全職員で行う。	2.1	
(3) 進路指導	時間管理について	欠席・遅刻・早退の皆無に向けた学生への指導を行う。	2.1	
		学生をよく観察し、日常生活への変化に目を配り、退学を減少させる。	2.3	
	就職対策	学生個々の希望に沿った進路指導を行う。	2.2	
		企業ガイダンスや企業説明会に参加させる。	2.4	
		考査等の成績や生活態度を保護者に開示し、適切な進路指導に活用する。	2.0	
		就職試験対策として、模擬面接・就職模試を実施する。	2.2	
	職場開拓	企業との連携を密にして、企業の採用情報・求める人材像を明確にする。	2.2	
		就職率100%を目指し、学生の希望に沿って企業開拓を実施する。	2.1	
		就職後の離職率を減らす為、ミスマッチが起こらぬように指導する。	2.1	

分野	目 標	具 体 的 取 組	評 価	改善 項目
(4) 広 報	募 集 要 項 等	オープンキャンパス等を通じ、受験生や保護者にわかりやすい説明を行う。	2.4	
		電話やパンフ請求者に対して、丁寧なわかりやすい説明を行う。	2.1	
	高校との信頼関係	高校訪問を通じ、在校生の近況報告等で、高校との連携をはかる。	1.8	
	ホームページ活用	募集にかかわる様々な情報をHPに公開し、きめ細やかな運用を行う。	2.2	
(5) 組 織 ・ 運 営	経 営 方 針	全職員が経営ビジョンを認識し、その達成に努力する。	2.0	
	施設設備の活用	既存の設備を最大限活用し、教育効果の向上に努める。	2.0	
	安 全 点 検 等	避難訓練の実施、交通安全指導の徹底し、安全面に万全を期す。	2.2	
	個人情報保護	学生の個人情報については、外部へ漏洩しないよう細心の注意を払う。	2.6	
		インターネットアクセスは業務以外行わない。	2.4	